

週休2日適用工事実施要領等 達成状況確認の詳細（現場閉所）訂正対照表

頁

訂正前

訂正後

2

（月単位の4週8休の達成の考え方）

月単位で4週8休を達成した工事

1月 黄色塗：閉所日						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

→35.4% (11日/31日)

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

→32.1% (9日/28日)

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

→29.0% (9日/31日)

→ 全ての月で達成

月単位で4週8休を達成していない工事
（ただし通期は達成）

1月 黄色塗：閉所日						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

→35.4% (11日/31日)

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

→32.1% (9日/28日)

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

→22.5% (7日/31日)

→ 全ての月で達成していない

（月単位の4週8休の達成の考え方）

月単位で4週8休を達成した工事

1月 黄色塗：閉所日						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

→35.4% (11日/31日)

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

→32.1% (9日/28日)

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

→29.0% (9日/31日)

→ 全ての月で達成

月単位で4週8休を達成していない工事
（ただし通期は達成）

1月 黄色塗：閉所日						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

→35.4% (11日/31日)

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

→32.1% (9日/28日)

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

→22.5% (7日/31日)

→ 全ての月で達成していない

週休 2 日適用工事実施要領等 週休 2 日の取得に要する費用の計上に係る計算仕様（共通）訂正対照表		
頁	訂正前	訂正後
1	週休 2 日の取得に要する費用の計上に係る計算仕様（共通） 本計算仕様は、土木工事設計積算システムで自動計算される計算仕様をとりまとめたものであり、システムを利用しない場合は本計算仕様を参考に計算するものとする。 1 補正係数による端数処理 週休 2 日の確保に当たって必要となる費用について、補正係数により行う場合の計算仕様を記載する。 <労務費> ○ 労務単価は、積算基準書に基づいて算出した単価（端数処理なし）に週休 2 日補正係数を乗じ、小数点以下切捨てとする。 ○ 冬期間の夜間工事における週休 2 日補正は以下のとおり。 1 補正方法 「夜間工事の労務単価に週休 2 日補正係数を乗じて算出した単価（小数点以下切捨て）」に「冬期間の補正係数を乗じた日中の労務単価に週休 2 日補正係数を乗じて算出した単価（小数点以下切捨て）」を足し合わせる。 2 計算式 A：夜間工事の労務単価に週休 2 日補正係数を乗じて算出した単価 B：冬期間の補正係数を乗じた日中の労務単価に週休 2 日補正係数を乗じて算出した単価 (1) $A = (\text{日中の労務単価}) \times (\text{夜間等の時間帯割増係数}) \times (\text{週休 2 日補正係数})$ (2) $B = (\text{日中の労務単価}) \times (\text{冬期工事における割増率}) \times (\text{週休 2 日補正係数})$ (3) A と B それぞれの小数点以下を切捨てる。 (4) A + B により、冬期間の夜間工事における週休 2 日の労務単価を算出する。 3 計算例 日中の労務単価：19,000 円 夜間等の時間帯割増係数：1.5 冬期工事における割増率：3 % 週休 2 日補正係数 1.05 (1) $A = 19,000 \text{ 円} \times 1.5 \times 1.05 = 29,925.0 \text{ 円}$ (2) $B = 19,000 \text{ 円} \times 0.03 \times 1.05 = 598.5 \text{ 円}$ (3) $A = 29,925 \text{ 円}$ $B = 598 \text{ 円}$ (4) $29,925 \text{ 円} + 598 \text{ 円} = 30,523 \text{ 円}$	週休 2 日の取得に要する費用の計上に係る計算仕様（共通） 本計算仕様は、土木工事設計積算システムで自動計算される計算仕様をとりまとめたものであり、システムを利用しない場合は本計算仕様を参考に計算するものとする。 1 補正係数による端数処理 週休 2 日の確保に当たって必要となる費用について、補正係数により行う場合の計算仕様を記載する。 <労務費> ○ 労務単価は、積算基準書に基づいて算出した単価（端数処理なし）に週休 2 日補正係数を乗じ、小数点以下切捨てとする。 ○ 冬期間の夜間工事における週休 2 日補正は以下のとおり。 1 補正方法 「夜間工事の労務単価に週休 2 日補正係数を乗じて算出した単価（小数点以下切捨て）」に「冬期間の補正係数を乗じた日中の労務単価に週休 2 日補正係数を乗じて算出した単価（小数点以下切捨て）」を足し合わせる。 2 計算式 A：夜間工事の労務単価に週休 2 日補正係数を乗じて算出した単価 B：冬期間の補正係数を乗じた日中の労務単価に週休 2 日補正係数を乗じて算出した単価 (1) $A = (\text{日中の労務単価}) \times (\text{夜間等の時間帯割増係数}) \times (\text{週休 2 日補正係数})$ (2) $B = (\text{日中の労務単価}) \times (\text{冬期工事における割増率}) \times (\text{週休 2 日補正係数})$ (3) A と B それぞれの小数点以下を切捨てる。 (4) A + B により、冬期間の夜間工事における週休 2 日の労務単価を算出する。 3 計算例 日中の労務単価：19,000 円 夜間等の時間帯割増係数：1.5 冬期工事における割増率：3 % 週休 2 日補正係数 1.04 (1) $A = 19,000 \text{ 円} \times 1.5 \times 1.04 = 29,640.0 \text{ 円}$ (2) $B = 19,000 \text{ 円} \times 0.03 \times 1.04 = 592.8 \text{ 円}$ (3) $A = 29,640 \text{ 円}$ $B = 592 \text{ 円}$ (4) $29,640 \text{ 円} + 592 \text{ 円} = 30,232 \text{ 円}$